



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年1月31日

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
 コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 橋本 淳
 (氏名) 岸本 一人
 TEL 0569-72-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	16,303	2.5	926	24.9	1,029	23.5	854	53.5
2018年3月期第3四半期	16,714	7.5	741	14.3	833	13.5	557	17.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	123.04	
2018年3月期第3四半期	80.16	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	21,989	18,985	86.3	2,732.34
2018年3月期	22,470	19,151	85.2	2,756.22

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 18,985百万円 2018年3月期 19,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		20.00		20.00	40.00
2019年3月期		20.00			
2019年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	0.5	1,170	18.8	1,290	18.4	1,050	64.1	151.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	8,832,311 株	2018年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,883,866 株	2018年3月期	1,883,805 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	6,948,504 株	2018年3月期3Q	6,948,597 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び設備投資には底堅さが見られ、雇用・所得環境の改善傾向が続く中、個人消費は足踏みが見られましたが総じて緩やかな景気回復基調が続きました。しかし、全国各地で記録的な豪雨・猛暑等が少なからず景気に影響を与え、さらに米国の保護主義への傾斜やそれに伴う貿易摩擦の激化へのリスクの高まりと金融資本市場の変動の影響が懸念され、今後の動向は依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第3四半期累計期間の売上高は16,303百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は926百万円（前年同期比24.9%増）、経常利益は1,029百万円（前年同期比23.5%増）、四半期純利益は投資有価証券の一部を売却したことに伴い投資有価証券売却益231百万円を計上したこと等により854百万円（前年同期比53.5%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体調味食品部門は、鰻のシラスの漁獲が細る中、今年は不漁の為、うなぎのたれの市販用・業務用のどちらも売上が減少したことにより、売上高は3,020百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は283百万円（前年同期比29.8%減）となりました。

粉粒体食品部門は、粉末スープの受託が伸び悩み、売上高は3,249百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益は48百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は2,121百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は212百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

即席麺部門は、大型のカップ麺の受託が順調に推移し、売上高は6,904百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は365百万円（前年同期比907.0%増）となりました。

その他は、水産物の取扱量が減少したことにより、売上高は1,007百万円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益は17百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期会計期間末における総資産は21,989百万円となり、前事業年度末と比べ481百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が761百万円増加し、売掛金が231百万円、投資有価証券が1,171百万円減少したことによるものであります。

負債は3,003百万円となり、前事業年度末と比べ315百万円減少しました。これは主に、買掛金が136百万円、繰延税金負債が227百万円減少したことによるものであります。

純資産は18,985百万円となり、前事業年度末と比べ166百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が576百万円増加し、その他有価証券評価差額金が743百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は86.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月19日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,071	6,832
売掛金	2,334	2,103
商品及び製品	442	425
仕掛品	30	24
原材料及び貯蔵品	288	318
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	17	21
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	14,677	15,218
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,945	1,883
機械及び装置（純額）	1,721	1,540
その他（純額）	1,111	1,460
有形固定資産合計	4,778	4,884
無形固定資産	20	15
投資その他の資産		
投資有価証券	2,856	1,685
その他	137	186
投資その他の資産合計	2,994	1,871
固定資産合計	7,793	6,770
資産合計	22,470	21,989

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,567	1,431
未払法人税等	178	225
賞与引当金	183	68
役員賞与引当金	5	3
その他	431	531
流動負債合計	2,365	2,259
固定負債		
繰延税金負債	227	—
退職給付引当金	712	730
役員退職慰労引当金	12	14
固定負債合計	953	744
負債合計	3,318	3,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	19,014	19,591
自己株式	△3,456	△3,456
株主資本合計	17,879	18,455
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,272	529
評価・換算差額等合計	1,272	529
純資産合計	19,151	18,985
負債純資産合計	22,470	21,989

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	16,714	16,303
売上原価	15,134	14,597
売上総利益	1,579	1,706
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	270	247
賞与引当金繰入額	9	9
役員賞与引当金繰入額	3	3
退職給付費用	27	26
役員退職慰労引当金繰入額	2	1
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	523	490
販売費及び一般管理費合計	837	779
営業利益	741	926
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	45	49
雑収入	33	37
営業外収益合計	97	106
営業外費用		
賃貸費用	4	3
雑支出	1	0
営業外費用合計	6	3
経常利益	833	1,029
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	231
特別利益合計	0	231
特別損失		
固定資産除売却損	22	2
固定資産撤去費用	5	9
特別損失合計	28	11
税引前四半期純利益	804	1,248
法人税、住民税及び事業税	223	364
法人税等調整額	24	29
法人税等合計	247	393
四半期純利益	557	854

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社における、製品及び仕掛品の評価方法は、従来、総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用していましたが、第1四半期会計期間より、移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この評価方法の変更は、たな卸資産の評価及び期間損益計算をより適切かつ迅速に行うことを目的としたものであります。

なお、当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響が軽微であるため、遡及適用しておりません。

また、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体調味 食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,219	3,467	2,196	6,707	15,591	1,123	16,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,219	3,467	2,196	6,707	15,591	1,123	16,714
セグメント利益	403	53	227	36	721	20	741

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体調味 食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,020	3,249	2,121	6,904	15,296	1,007	16,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,020	3,249	2,121	6,904	15,296	1,007	16,303
セグメント利益	283	48	212	365	909	17	926

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。